

中国における「池田研究」の動向（7）

高 橋 強

1) 池田思想研究の学術シンポジウム

(1) 「第4回池田大作平和思想研究フォーラム」

中国文化大学（台湾）は、3月2日、「平和・文化・教育——人道競争の新世紀を」と題し、フォーラムを開催した。全体会で4名、分科会で12名の計7大学の16名の研究者が論文を発表した。参加者は約400名を数えた。今フォーラムは、同大学の張鏡湖理事長と創価大学創立者池田大作先生との対談集『教育と文化の王道』の中国語版の新書発表会の意義を込めて、盛大に開催された。

基調報告をした張理事長は、池田大作先生の世界への貢献について①文学・芸術、②仏教精神を現代に復興、③仏教思想を192カ国・地域に拡大、④50を超す対談集の出版、⑤世界平和の5点から分析し、豊かな精神性に基づいた池田思想の中に人類課題を克服しゆく鍵があると論じた。

発表された論文は、以下の通りである（発表順）。

全体会

「池田大作の『人道競争』観」高橋強（創価大学）

「池田大作の人間教育観」劉焜輝（中国文化大学）

「池田大作先生の平和教育思想から見た兩岸の文化交流」唐彦博（育達商業科技大学）

「天地の間」王吉林（中国文化大学）

<分科会Ⅰ>

「池田大作の人道競争と地球市民教育観」林彩梅（中国文化大学）

「誰が大学の桂冠を外すのか」劉広英（中国文化大学）

「『地球平和への探求』を読んで」欧陽（中国文化大学）

<分科会Ⅱ>

「池田大作の人道平和思想」陳育澱（南台科技大学）

「『子どもの世界・青少年に贈る哲学』を読んで」周建亨（中国文化大学）

「倫理理念、信任関係と知識分子の効能研究」健傅林（中国文化大学）

<分科会Ⅲ>

「池田大作先生の環境教育思想」楊劍豐（南台科技大学）

「平和文化経営理念と品質管理制度の関係研究」林瑞山（中国文化大学）

「平和文化経営理念の国外管理による国際文化訓練と経営業績に対する影響の研究」李美慧
（北台湾科技学院）

<分科会Ⅳ>

「世界の池田大作」陳鵬仁（中国文化大学）

「新人間主義思想の大学管理教育に対する啓示」林月雲（華梵大学）

「平和文化経営理念と異文化管理の関係研究」鄧旭茹（中山医学大学）

今シンポジウムでは、「平和文化経営理念」に関する論文が3編、「人道競争」に関する論文、「人間主義」（中道人間主義、新人間主義）に関する論文、「平和思想」（人道平和思想、平和教育思想）に関する論文がそれぞれ2編、「環境教育思想」に関する論文が1編等、多岐に渡る内容が発表され、多面的な議論がなされた。その議論において、創立者から寄せられたメッセージの中の「人道とは、最も人間的な道であり、他者に尽くす生き方や思いやりの心として、深く広く尊重されてきた徳である」また「人道競争こそ、人類が選択し、推進すべき自他共の幸福と向上と平和の活力あふれる大道である」が、多くの発表者から注目を集めていた点が印象的であった。

(2) 「人間主義と21世紀の地球文明——2010. 池田大作思想シンポジウム」

広東省社会科学院と嘉応学院により広東省の梅州市で、3月20日開催された。これには、8大学・諸機関の研究者約20名が参加した。30編を超える論文が寄せられた。

祝辞を寄せた広東省社会科学院の梁桂全院長は、「池田大作先生は、民族、国境を超えて、人間主義と世界平和の思想を掲げ、幸福の新世紀を燦然と開くために尽力してこられた。そして、その思想をもとに、中日友好関係発展に卓越した貢献をなされたのです。世界の平和、進歩、幸福に対し、池田思想の持つ影響は巨大なものです」「『人間主義と21世紀の地球文明』をテーマとする今回のシンポジウムは、極めて重要な理論的意義と現実的価値を有するものです。池田大作思想研究が深化することは、私たちの未来に有益な啓示をもたらすと確信いたします」と述べた。

以下、寄せられた論文を開催後発刊された「論文集」の掲載順に紹介する。

- 「21世紀地球文明における人間主義」温憲元（広東省社会科学院）
「21世紀初めの地球文明の特色と池田思想」王夏冰（安陽工学院）
「地球憲章と21世紀地球文明」張宙（香港理工大学）
「池田大作の“対話の文明”思想」劉卓紅、王学風（華南師範大学）
「池田大作の調和社会構築思想」劉景蘭（湖北師範学院）
「人間主義：21世紀地球文明の核心的価値」黃順力（アモイ大学）
「文明の影から抜け出し、人類平和の実現を」鐘明華（中山大学）
「池田大作の世界平和観の哲学的基礎」李春泰、宋振東（嘉応学院）
「平和主義という言葉の中の周池精神」紀亜光（南開大学）
「池田大作の平和理念と荘子の世界観」徐春根（嘉応学院）
「創価学会の人間思想と幸福追求」劉建榮（湖南師範大学）
「人を以て本とする教育と、和を以て貴いとする文明」高岳倫、蔡立彬（仲愷農業工程学院）
「池田大作平和思想の哲学的基礎」譚木桂（嘉応学院）
「池田大作の“世界市民”教育理念」魏明枢（嘉応学院）
「池田大作の“教育の人間の発展に対する機能”思想」李文兵（韶関学院）
「池田大作の人間主義教育観」胡海建（肇慶学院）
「人間主義と教師の職業的関心」蔣菊（肇慶学院）
「デューイと池田大作の学生成長観比較」原青林（肇慶学院）
「読書は人間主義的な大学戦略」官建生（韶関学院）
「池田大作の科学技術倫理思想及び其現代的意義」林振武（嘉応学院）
「池田大作の天台観」陳紅旗（嘉応学院）
「池田大作の誠意観」郭錦杭（嘉応学院）
「世界の名士が見た池田大作」陳鵬仁（中国文化大学）
「池田大作の“金字塔進入新世紀”」管鏐旋（嘉応学院）
「低炭素経済を以て導く両型社会の構築」陳曉春、李勝（湖南大学）

シンポジウムの総括

閉幕式の際に、主催者の代表による以下のような総括が発表された。

今回のシンポジウムの主題を巡って、広範で深い討論が展開され、30編を超える論文が集まった。それらは、21世紀地球文明、池田大作の人間主義的教育観、池田大作の平和主義思想、科学観、科学技術倫理観、天台観、誠意観、幸福観等の多くの内容を有し、内容は高い質を保ち、示唆と創新性に富む観点と見解を提示した。これらの発表を聞き、参加者は多くの啓発を受けた。

この度の主題「人間主義と21世紀の地球文明」の「人間主義」は、池田大作思想の重要な内

容である。池田大作先生は、“今まさに人間主義が必要な時で”、戦争、環境破壊、人間性喪失等の様々な問題を解決する大切な時であると主張されている。

池田先生は外国人の中で、最も早く中国の人間主義に注目された思想家である。早くは1991年、池田先生は香港中文大学で、“中国の人間主義”について講演をされた。その中で「今、何が大切なのか。私は、絶えず『人間』に立ち返り、『人間』の実践を通して、その正否を検証し続ける以外にないと思う一人であります。そして、貴大学のモットーとされている『論語』の『博文約礼』——博く学べ、しかし博識をもって満足せず、礼すなわち実行によって知識をまとめていくことが大切である——は、まさにその戒めをいっているのではないのでしょうか。私は、『博文約礼』という言葉に、形而上の領域であれ、形而下の領域であれ、常に人間を機軸にした“等身大”の思考を求め続けた中国的発想、中国的思考が、凝縮されているように思えてなりません。これを仮に“中国の人間主義”と名付けたいと思う、と述べられている。

池田先生の人間主義は、自身の言葉に依ると、仏教人間主義或いは中道人間主義である。池田先生は完全なる一つの理論体系を構築されていないが、SGI提言等を詳細に分析すると、人間主義の問題に関心を寄せ重視され、多くの独自の特色や思想観点を提示されている。

人間主義を地球文明の根本的活路とするということは、真剣に考え、長期に渡って深く研究していくに値する重要な課題である。今後も池田先生の人間主義思想及びその地球文明発展に対する新たな趨勢に関心を寄せ続けたいと思う。

（3）「第2回周恩来・池田大作思想国際青年シンポジウム」

遼寧師範大学で、8月14日、15日にかけて開催された。同大学の「池田大作平和文化研究所」と学生組織「池田大作思想研究会」が主催し、南開大学「周恩来・池田大作研究会」（学生組織）の学生及び中国留学中の本学学生等、計約50名が参加した。

これには池田大作平和文化研究所の崔学森副所長、暴景昇研究員、趙慧英研究員、洪剛研究員、朱俊華研究員も出席し、貴重な論点を提供している。

同シンポジウムのテーマは「青春、責任、愛」で、9人の教員、学生らが研究発表した。

以下、発表論文を紹介する。

「池田大作の教育目的論の特徴」朱俊華（遼寧師範大学）

「青年教育と人格形成——池田大作青年教育思想の評価分析」官曉慧（遼寧師範大学）

「時代の使命を担い、歴史の責任を負う」肖寧、張博聞（遼寧師範大学）

「舞い上がる青春」鈴木広田（遼寧師範大学）

「池田大作の人生教育思想研究の総括」袁婧（南開大学）

「周恩来の対日民間外交思想——淵源、形成、意義」鄭文娟（南開大学）

「民間外交——“国際人”の責任 21世紀の青年に贈る」温家坤（南開大学）

「芸術文化・美術教育を通して、平和な社会を構築」森侑子（日中桜華文化交流クラブ）

「創価教育と共生の世紀」森佳子（日中桜華文化交流クラブ）

(4) 「第1回周恩来・池田大作思想シンポジウム」

南開大学で、9月4日、同大学「周恩来・池田大作研究会」（学生組織）と本学「中国研究会」（学生組織）が共催し、両大学の教員、学生及び中国留学中の本学学生等、計約50名が参加した。これには南開大学の紀亜光副院長、周恩来鄧穎超記念館の王緒周元館長らが参加し、貴重な観点を提示した。同シンポジウムのテーマは「平和友好 金の橋」で、両大学の6名の学生が論文発表した。

以下、基調講演と発表論文を紹介する。

基調報告

「周恩来、池田大作研究に対する理解」王緒周（周恩来鄧穎超記念館）

学生発表

「池田大作の教育思想が大学クラブ団体の組織運営に与える指導的意義」馬亜男（南開大学）

「池田大作道徳研究総括」呂雪艶（南開大学）

「私の目から見る“青年交流”」張碧璋（南開大学）

「人間教育の実践と青年の使命」渡辺時基（創価大学）

「周恩来・池田大作の青年時代の比較」十枝内陽子（創価大学）

「池田大作と周恩来から学ぶ指導者像」山腰まい（創価大学）

(5) 「21世紀の新文明構築——第6回池田大作思想国際学術シンポジウム」

広州の中山大学で、11月6日、7日にかけて開催された。これには、65の大学・諸機関の研究者約200名が参加した。シンポジウムに寄せられた論文は73編で、そのうち50編が発表された。

今シンポジウムの大きな特色の一つは、1日目にパネルディスカッション形式を取り入れたことである。5つのセッションを設け、それぞれ4名のパネラーが発表し参加者との質疑応答を経て、最後に1名の講評者が意見を述べるといった形式で、全体として討論が深まった。2日目は、従来と同様に分科会形式をとった。

以下、基調報告、パネルディスカッション、分科会に提出された論文を紹介する（発表順）。

基調報告

「新文明の構築と大学の使命」山本英夫（創価大学）

「文明の衝突と21世紀文明の構築」李萍（中山大学）

パネルディスカッションⅠ

「新文明と池田大作の『人間革命思想』」高橋強（創価大学）

「中国文明論の新たな視点」宋成有（北京大学）

「池田大作文明観の特徴と影響」温憲元（広東省社会科学院）

「非物質経済、持続可能な発展と生態文明」盧風（清華大学）

講評者：黄順力（アモイ大学）

パネルディスカッションⅡ

「東洋の智慧と21世紀地球文明」汪鴻祥（創価大学）

「人道の世紀に向かって」劉焜輝（中国文化大学）

「平和、共生と対話：21世紀新文明の核心的価値」黄順力（アモイ大学）

「池田大作の“新しき文芸復興”思想」譚桂林（湖南師範大学）

講評者：宋成有（北京大学）

パネルディスカッションⅢ

「池田思想の生命観の特徴」樋口勝（創価大学）

「東洋文明と21世紀新文明」陳鵬仁（中国文化大学）

「東アジアの儒家文化の21世紀新文明に対する貢献」劉卓紅（華南師範大学）

「池田大作の文明観とアジア太平洋地域協力」劉少華（湖南大学）

講評者：盧風（清華大学）

パネルディスカッションⅣ

「21世紀技術文明構築の哲学思想」劉繼生（創価大学）

「池田大作文明観から見た兩岸の文明発展の展望」唐彦博（育達商業科技大学）

「池田大作の文明観の現代的価値」李春泰（嘉応学院）

「『自然との対話』：生態、文化と21世紀新文明」顏淑娟（高雄大学）

講評者：曲鴻亮（福建社会科学院）

パネルディスカッションⅤ

「孫中山と池田大作の文明観比較」鐘明華（中山大学）

「“共生のエートス”から見た池田大作の文明観」夏広興（上海師範大学）

「新文明観の下での大学教育」盧寧（広西師範大学）

「池田大作の生態観及びその現実的啓示」劉俐（中山大学）

第1分科会（池田大作と文化主義）

「中国大陸での池田大作研究の形成」拜根興（陝西師範大学）

- 「池田大作の文明観」孫彬（清華大学）
「都市文明の未来」劉旭光（上海師範大学）
「人間と自然の相互占有」曲鴻亮（福建社会科学院）
「池田大作の“対話の文明”思想」王学風（華南師範大学）
「東アジアの文化伝統及びその21世紀への発展動向」張青蘭（華南師範大学）
「文化的差異の下での対話と真相」吳進安（雲林科技大学）
「池田大作の自然倫理の文化を超えた解明」姜丹丹（華東師範大学）
「中華文明と21世紀新文明」饒玲玲（仲愷農業工程学院）
「文明の物質性と文化の精神性」陳立新（上海杉達学院）
「中国の更なる文明性」官建生（韶関学院）
「池田大作の東洋の現代化の道に対する理解」林振武（嘉応学院）
「池田大作の発展観」袁静（中央党校）
「東アジアの儒家文化の21世紀新文明に対する貢献」彭玉峰（華南師範大学）

第2分科会（池田大作と平和主義）

- 「青年の平和教育と中日友好」高岳倫、蔡立彬（仲愷農業工程学院）
「池田大作の平和教育理念と21世紀新文明」洪剛（大連海洋大学）
「理解を通しての平和の橋の構築」馬利中（上海大学）
「池田“平和提言”の思想の要義」冉毅（湖南師範大学）
「池田大作先生と中日国交正常化」田涛（天津社会科学院）
「池田大作の国際平和主義」姚勝旬（貴州大学）
「扶桑春日好」易明（天津社会科学院）
「池田大作の中日友好思想および其現代的価値」鄭文娟（南開大学）
「池田大作と老子の調和人間観比較」李曙豪（韶関学院）
「池田大作の徹した平和主義と莊子の調和理念」徐春根（嘉応学院）

第3分科会（池田大作と人間教育Ⅰ）

- 「デューイと池田大作の学生成長観比較」原青林（肇慶学院）
「池田大作文明観及び其教育における実践」章舜欽（アモイ大学）
「21世紀新文明視野の下での池田大作の人本徳育思想」陳志興（南昌大学）
「池田大作教育思想の21世紀外国語教育への啓示」顧偉坤（上海外国語大学）
「マカオ学の学術的価値及び其モデル的意義」林広志（マカオ大学）
「人間主義と教師の職業的関心」蔣菊（肇慶学院）
「池田大作の道德教育思想の淵源」柳媛（中山大学）
「池田大作“人間革命”思想及び其啓示」曾学龍（仲愷農業工程学院）
「東洋女性の美德の21世紀新文明に対する価値」蔡瑞燕（仲愷農業工程学院）

「池田大作の“衆”型教育システム」 呂雪艷（南開大学）

「池田大作児童教育思想」 呂帥（中山大学）

第4分科会（池田大作と人間教育Ⅱ）

「創価学会の女性教育と指導者観」 川崎高志（創価大学）

「池田大作の音楽文化思想から見た大衆文化の特質」 董芳勝（創価大学）

「伝統文化の継承と世界文化の融合」 傅正泰（北京城市学院）

「創価教育思想の核心と原点」 胡海建（肇慶学院）

「池田大作先生の生命教育観」 黄富峰（聊城大学）

「工業経済の低炭素発展モデル」 陳曉春（湖南大学）

「池田大作の女性観」 崔学森、王晨曦（遼寧師範大学）

「池田大作“三位一体”教育思想の大学の思想政治教育への啓示」 袁婧（南開大学）

「池田大作の女性思想」 塗忠梅（中山大学）

シンポジウムの総括

閉幕式の際に、主催者の代表による以下のような総括が発表された。

池田大作先生は世界的に著名な思想家、文学者、教育者、国際的な人道主義者・平和主義者であります。2010年11月6日、7日、アジア競技大会が開催されようとしている広州において、中山大学と創価大学は、「21世紀の新文明構築——第6回池田大作思想国際学術シンポジウム」を開催し、中国、台湾、香港、マカオおよび日本から約100人の学者が参加した。

中山大学の梁慶寅常務副書記は挨拶の中で、中山大学と池田大作先生と創価大学との深い交流の淵源を回顧し、池田大作先生が時代の渴望する平和への願望に対して、不断に世界平和を推進し、中日友好事業に努力してこられたことに、また人類社会の進歩に向けた事業の発展の為に貢献のある思想や智慧および積極的行動に、高い評価を与えた。

池田大作先生はこの度のシンポジウムを大変に注目され、シンポジウムへのメッセージの中で、広州は一貫して人類大交流の要地で、池田先生が中国を訪問した際第一歩の足跡を留めた地であり、また日中友好推進の原点であり、さらに孫中山先生の名前を冠した中山大学は「21世紀の新文明構築」というテーマを語り合うのに最も適した舞台である、と評価を下されている。

創価大学の山本英夫学長と中山大学の李萍副書記は、基調報告を行った。山本学長は創価大学の建学の精神を紹介し、大学の重要性は“文明の根本的基礎”になることであり、池田先生が創価大学を創立した目的は“新文明の構築”にあると論じた。李副書記は「文明の衝突と21世紀の新文明の構築」と題した報告の中で、“文明の衝突”という世界的範囲で強烈な反響を引き起こした論題に注目し、21世紀の新文明は、自身の個の価値を世界の共生との関係に回帰さ

せ、個と自然、個と社会間の全体的関係から個の生存を会得すべきであると提起し、新文明の構築の為には東アジア文明の復興に期待が持たれている、と論じた。

この度のシンポジウムのテーマ「21世紀の新文明構築」を巡って、パネルディスカッションにおいては、多くの学者が、池田大作の文明観、21世紀新文明の核心的価値および東洋文明と21世紀新文明、という3つの視点から討論、交流をし、充実した報告となった。

池田大作の文明観に関して。

広東省社会科学院の温憲元教授、創価大学の汪鴻祥教授、中国文化大学の劉焜輝教授、アモイ大学の黄順力教授、上海師範大学の夏広興教授等は、池田大作の文明観について討論した。以下4点に要約する。第1：池田大作の文明観は3つの側面を有する、即ち、平和を主要な基礎とし、共生を最重要の理念となし対話を人類文明を通わせる方途および橋梁とし、“多様性輝く世界観”を鮮明な特色とする、である。第2：池田大作の文明観は、東洋の智慧の重要な構成部分で、池田は東洋の智慧を用いて現代文明の危機を解決し、21世紀の世界文明を構築することに努力している。第3：池田大作の文明観は人類が新世紀に向かっていくという広い視野の中にあり、具体的には平和と共生の文化を重視し、地球を大切にし、生命尊厳を重視し、女性の新世紀における役割と任務を重視し、宗教の寛容を提唱すること等に体现されている。第4：共生のエートス（道徳的気質）は、池田大作の文明観の核心的命題で、“共生のエートス”が体现している池田大作の文明観念と生態文明の内在的要求は基本的に一致しており、生態的智慧の光を輝かせている。

21世紀新文明の核心的価値に関して。

清華大学の盧風教授、創価大学の高橋強教授、劉継生教授、湖南大学の劉少華教授、高雄大学の顔淑娟副教授等は、系統的に論じた。主要な観点は、以下の通りである。第1：生態環境問題は21世紀新文明を視野にいれた際の全地球的な重大な議題で、生態文明は人類文明が必ず經由しなければならない道で、21世紀文明は物質主義価値観を超越し、生態主義価値観を樹立しなければならない。第2：池田大作の生態観は、宗教的、道徳的、倫理的な人道的思惟から出発し、池田大作の“人間革命”思想は自己——社会——環境の3つの範疇の問題を解決しており、これは池田大作の新文明に対する重要な思考である。第3：池田大作の地域文明観とアジア太平洋地域の協力という観点は、実行可能性と先見性を有し、これも池田大作思想体系の重要な構成部分である。第4：21世紀科学技術文明の構築に対し、哲学的思考は大変に必要なもので、正確な科学哲学と倫理観を有することによってのみ、21世紀の科学技術の発展は、人類文明に貢献することができる。

東洋文明と21世紀新文明に関して。

北京大学の宋成有教授、中国文化大学の陳鵬仁教授、華南師範大学の劉卓紅教授、台湾育達

商業科技大学の唐彦博学長等は、抜きんでた成果のある研究をしている。以下、3点に要約する。第1：池田大作、季羨林、蔣忠新等の思想家の東西文明の基本的観点を比較すると、東西文明はまさに融合しているが、世界の光は必然的に東洋から来ている。第2：様々な文明間において、池田大作の“対話の文明”思想は新しい地球文明の根本精神であり、池田大作の主張は対話の中で人と人の心を通わせ、文明間の融合を実現すること、また人類の共存共栄を実現することである。第3：歴史が悠久で活力に満ちた中国文明は、人類社会の発展に、特に海峡兩岸の文明の発展に、新たな貢献をなすであろう、また中華文明の蘊蓄は絆で、池田大作の文明観の精髓をなしている意義を斟酌することができる。

発表者の中には、池田大作の思想とその他の思想家を比較した者もいた。創価大学の樋口勝教授は池田大作の生命観と馮契哲学を、また中山大学の鐘明華教授は池田大作の文明観と孫中山の文明観を比較し、両者の人類文明が歩む未来の方向性に関する全体的な見方は高度な一致を備えており、池田大作が強調する大同思想は21世紀新文明を構築する際に重要な精神的資源であると論じた。その他、池田大作の教育思想、文化思想、女性思想、環境思想、平和思想等の領域においても大きな成果があった。

この度のシンポジウムは、国内外の学術界の友人が一同に会し、共に友誼の“金の橋”を強固にし、池田大作思想の広さ、深さおよび強い社会的影響力を再度確認し、参加者が池田大作思想に対し行った全面的で深い討論と交流は、池田大作思想の学術的水準を高めた。

2）新設の池田大作研究機関、研究施設

- ・ 中国文化大学図書館「池田大作専門コーナー」設置（台湾）3月
- ・ 育達商業科技大学図書館「池田大作研究専門コーナー」設置（台湾）3月
- ・ 台湾芸術大学図書館「池田大作著作専門コーナー」設置（台湾）9月

- ・ 仲愷農業工程学院「廖承志・池田大作研究センター」設立（11月）

組織機構：所長は高岳倫副学長、副所長は蔡立彬教授（高等教育研究所所長）、蔡瑞燕副教授（廖仲愷何香凝記念館館長）。

研究方針：廖承志、池田大作の、①「人類の平和」「中日友好」「文化交流」「教育の発展」「人生哲学」等の分野における思想と理論研究、②世界平和と日中友好促進及び文化教育事業発展に対する功績の系統的研究。

- ・ 大連工業大学「池田大作読書会」設立（12月）

日本語学科の学生が中心で、学生一人一人の人間的成长と人生の幸福を目指すことが目的。

3) 池田研究の成果等

北京行政学院の董武副教授（北京大学池田大作研究会研究員）が『日本創価学会』（団結出版社 2009年10月）を出版した。

中国文化大学「池田大作研究センター」（台湾）が「池田大作思想研究論文集」（第6号2010年5月）を出版した。

2010年3月に広東省梅州市で開催された「人間主義と21世紀の地球文明——2010. 池田大作思想シンポジウム」（広東省社会科学院と嘉応学院による共催）の論文集『以人為本与21世紀全球文明——2010. 池田大作思想研究会文集』（梁桂全主編、温憲元副主編、中国社会科学出版社2010年10月）が出版された。

2009年10月に北京師範大学で開催された「平和と教育——池田大作思想国際学術シンポジウム」の論文集『平和与教育——池田大作思想研究』（高益民主編、年智英、袁婧副主編 教育科学出版社2010年11月）が出版された。

日中友好学術研究助成プログラム等で日本滞在中の中国の池田思想研究者4名が、2010年9月15日、創価大学で開催された「池田思想研究フォーラム」で講演をした。発表者と講演テーマは以下の通りである。

「池田先生の多元文明と平和・対話主義哲学の普遍的意義」王明兵（東北師範大学）

「池田先生の人間主義に基づく徳育問題とその思考」蔣菊（肇慶学院）

「人間教育の目的——池田大作教育思想研究」劉建栄（湖南師範大学）

「環境保護と社会の調和——池田大作環境思想研究」曾建平（井岡山大学）

また以下の研究課題が、日中友好学術研究助成プログラムに採択された。その内、研究助成は、「牧口常三郎と『人生地理学』研究」、「21世紀の新太陽女神——池田大作の『女性観』研究」、「池田大作先生の智慧観研究」、出版助成は、「東西文化の支点——池田大作思想研究の真髄」、「廖承志と池田大作」、日本滞在研究助成は、「池田大作の中国観——日本のマスコミへの寄稿を中心として」である。